

令和 6 年度 男女共同参画意識に関するアンケート結果について

1. 目的

第 4 次石狩市男女共同参画計画の進捗状況および男女共同参画に関する市民意識を把握し、本市の男女共同参画推進事業に活用するため実施

2. 対象者の抽出方法

市内に居住する 20 歳以上の男女 1,000 人

- 1 地域別割合：旧石狩市 900 人、厚田区 60 人、浜益区 40 人
- 2 年代別割合：20 代、30 代、40 代、50 代、60 代以降を概ね均等
- 3 男女別割合：各世代を均等

3. 期間及び方法

期間：令和 6 年 8 月 30 日（金）～令和 6 年 9 月 16 日（月）

方法：対象者にアンケート書類一式を郵送、返信用封筒により回収 ※Web 回答も受付

4. 回収状況

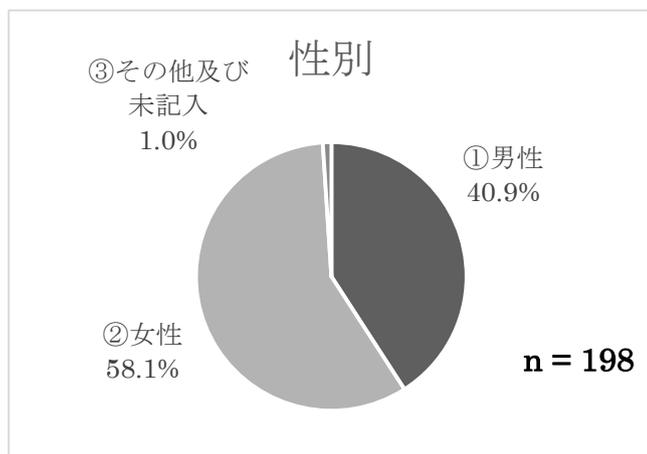
回収件数は 198 件で回収率は 19.8%

1 性別

男性は 16.2%、女性は 23%の回収率となっています。

項目	性別			合計
	① 男性	② 女性	③ その他及び未記入	
配布数(件)	500	500	—	1,000
回収数(件)	81	115	2	198
回収率(%)	16.2	23	—	19.8
回収数における性別割合(%)	40.9	58.1	1.0	100.0

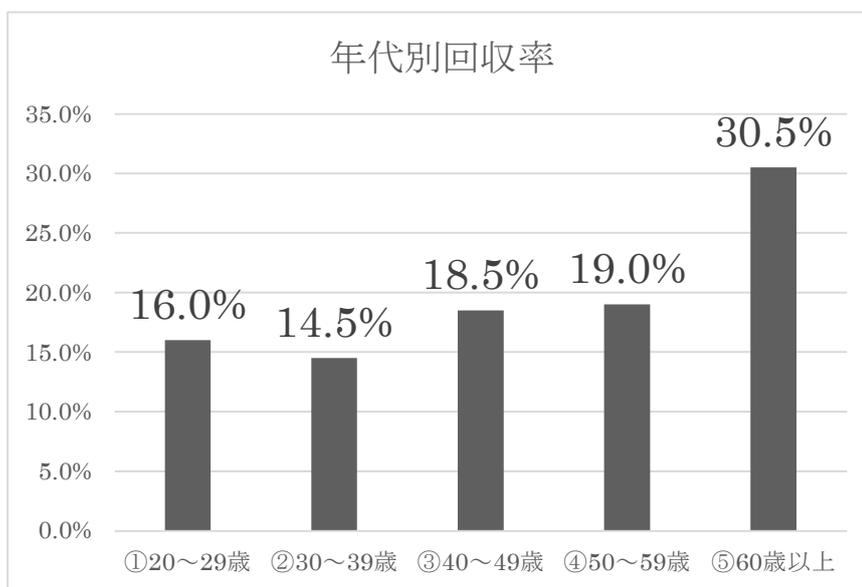
※LGBT などの性的マイノリティの人に配慮し、性別選択は必須項目としていません



2 年齢

⑤60代以上が30.5%と最も高く、次いで④50代の19.0%、③40代の18.5%と、年齢が高い人からの回収率が高くなっていますが、60代未満の各年代での回収率は、約15%～20%未満の間となっています。

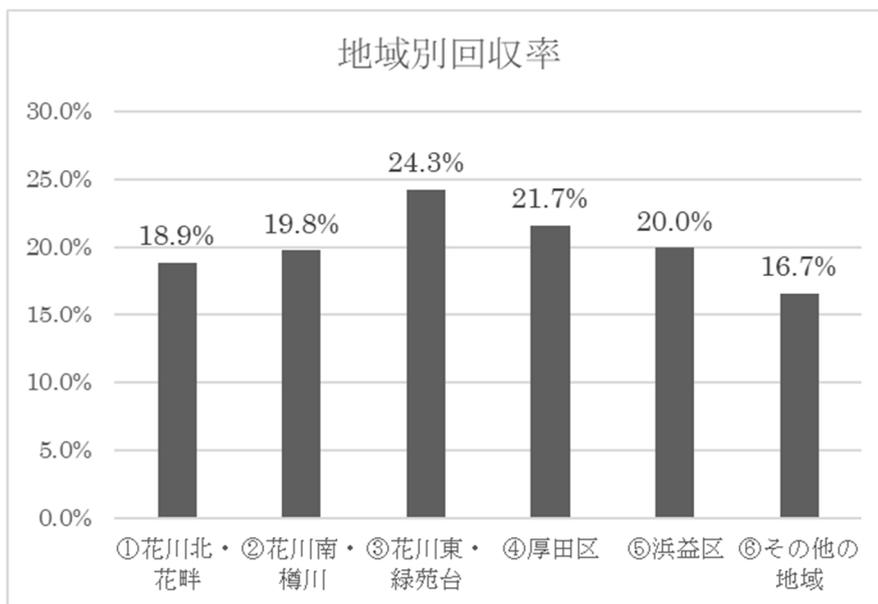
項目	年齢	①	②	③	④	⑤	⑥	合計
		20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	未記入	
配布数(件)		200	200	200	200	200	—	1,000
回収数(件)	男性	12	11	9	14	35	—	81
	女性	20	18	28	23	26	—	115
	その他	0	0	0	0	0	—	0
	未記入	0	0	0	1	0	1	2
	合計	32	29	37	38	61	1	198
回収率(%)		16.0	14.5	18.5	19.0	30.5	0.5	19.8



3 お住まい

ほぼすべての地域で20%前後の回収率となっています。

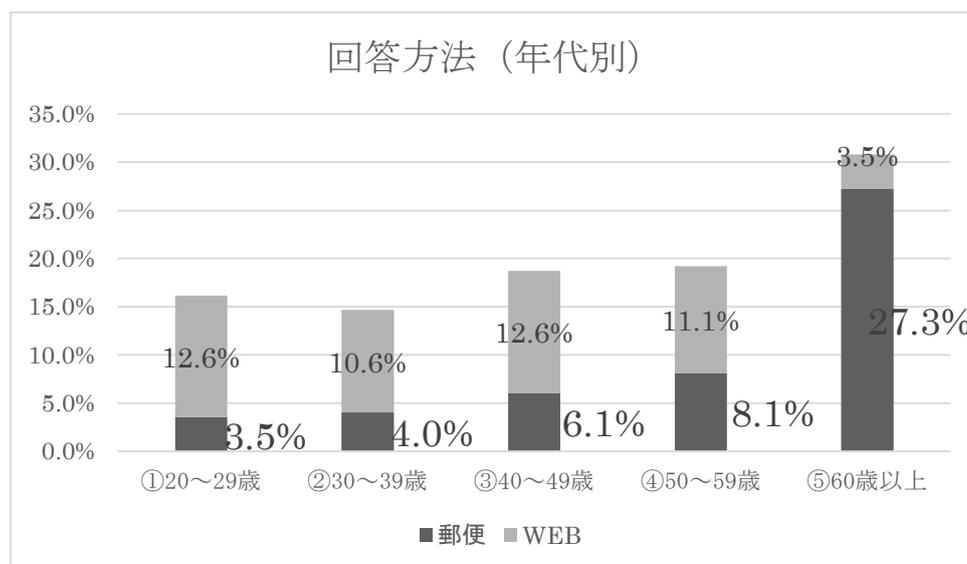
項目	地域	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	合計
		花川北・花畔	花川南・樽川	花川東・緑苑台	厚田区	浜益区	その他の地域	未記入	
配布数(件)		280	490	70	60	40	60	—	1,000
回収数(件)		53	97	17	13	8	10	—	198
回収率(%)		18.9	19.8	24.3	21.7	20.0	16.7	—	19.8



4 回答方法

郵便で回答した人は 98 人で 49.5%、Web で回答した人は 100 人で 50.5%となっています。前年度は郵便が 77.2%、Web が 22.8%だったので、今年度は Web での回答率が大幅に上がりました。

項目	① 20～29 歳		② 30～39 歳		③ 40～49 歳		④ 50～59 歳		⑤ 60 歳以上		⑥ その他及び 未記入		合計
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
郵便	7 人	3.5%	8 人	4.0%	12 人	6.1%	16 人	8.1%	54 人	27.3%	1 人	0.5%	98 人
Web	25 人	12.6%	21 人	10.6%	25 人	12.6%	22 人	11.1%	7 人	3.5%	0 人	0.0%	100 人
合計	32 人	16.1%	29 人	14.6%	37 人	18.7%	38 人	19.2%	57 人	30.8%	1 人	0.5%	198 人



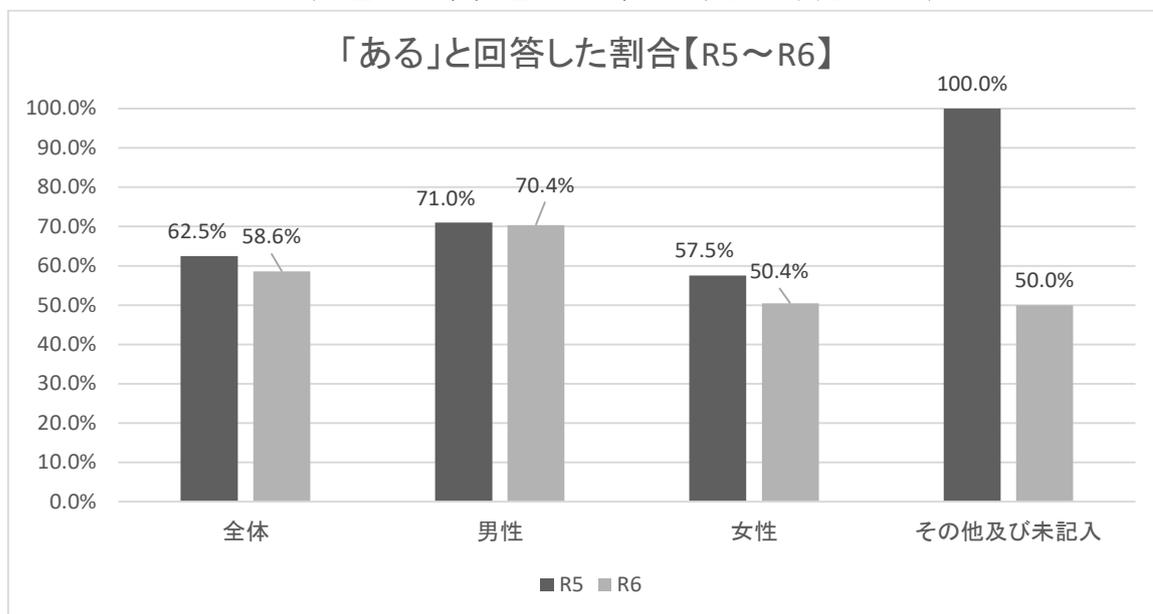
5. 分析結果

問1：あなたは、「男女共同参画社会」という言葉を見たり聞いたりしたことはありますか？

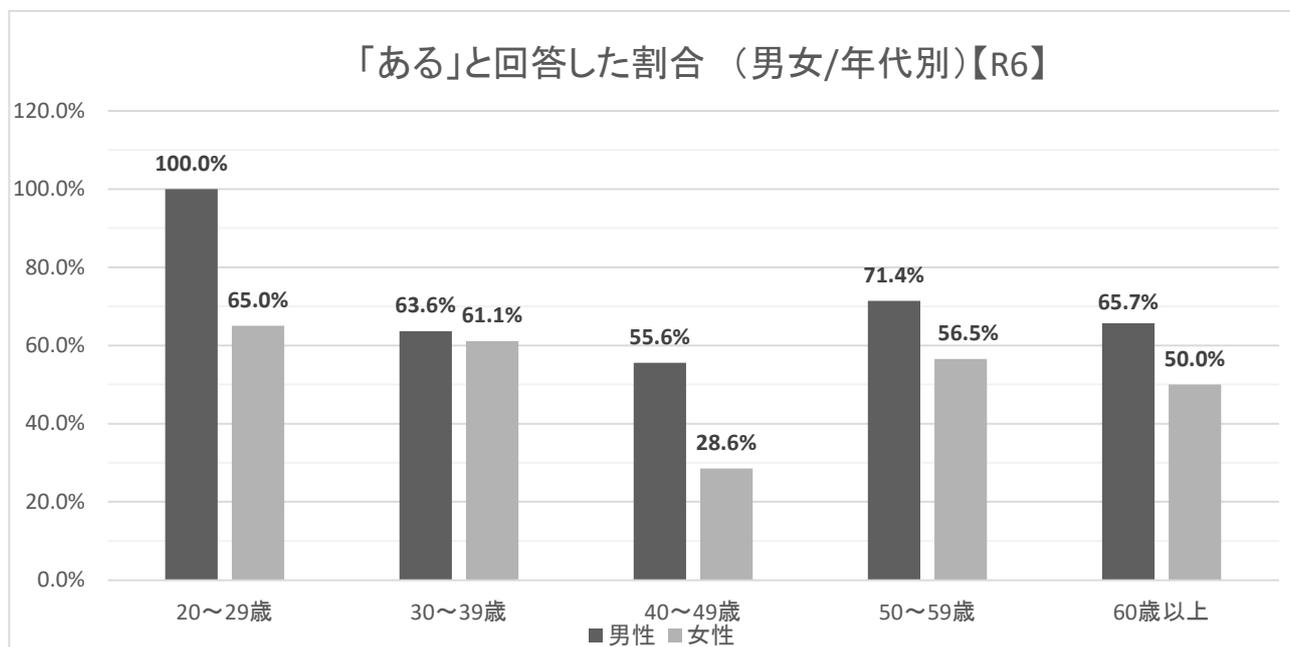
① ある ② ない

※以下 R5：n=184（男性 n=62、女性 n=120、その他及び未記入 n=2）

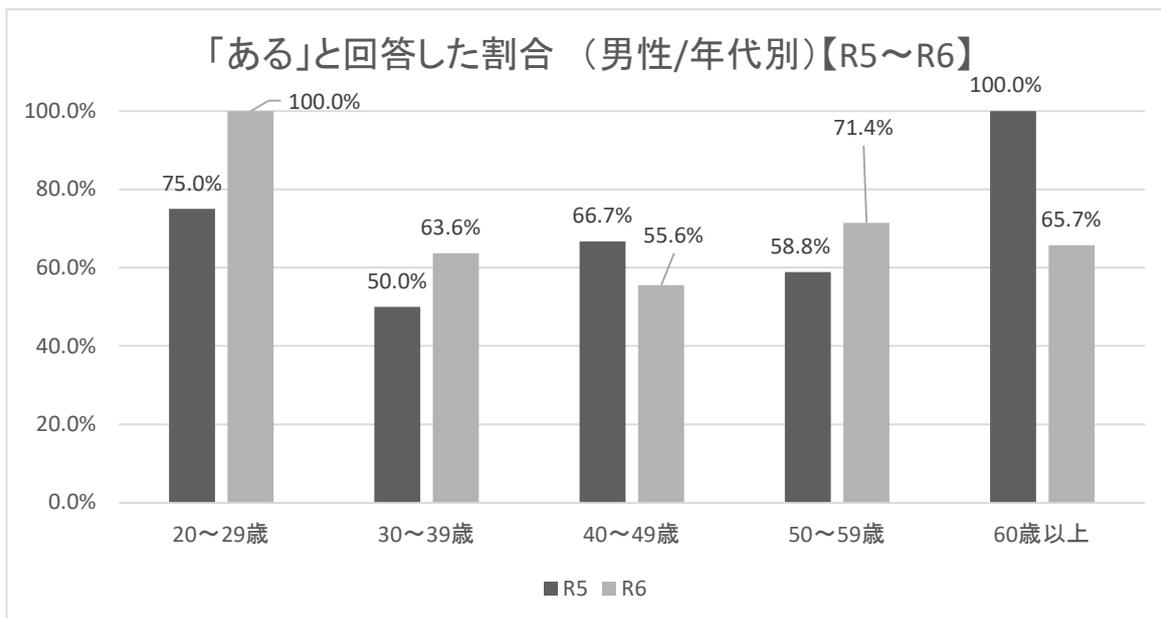
R6：n=198（男性 n=81、女性 n=115、その他及び未記入 n=2）



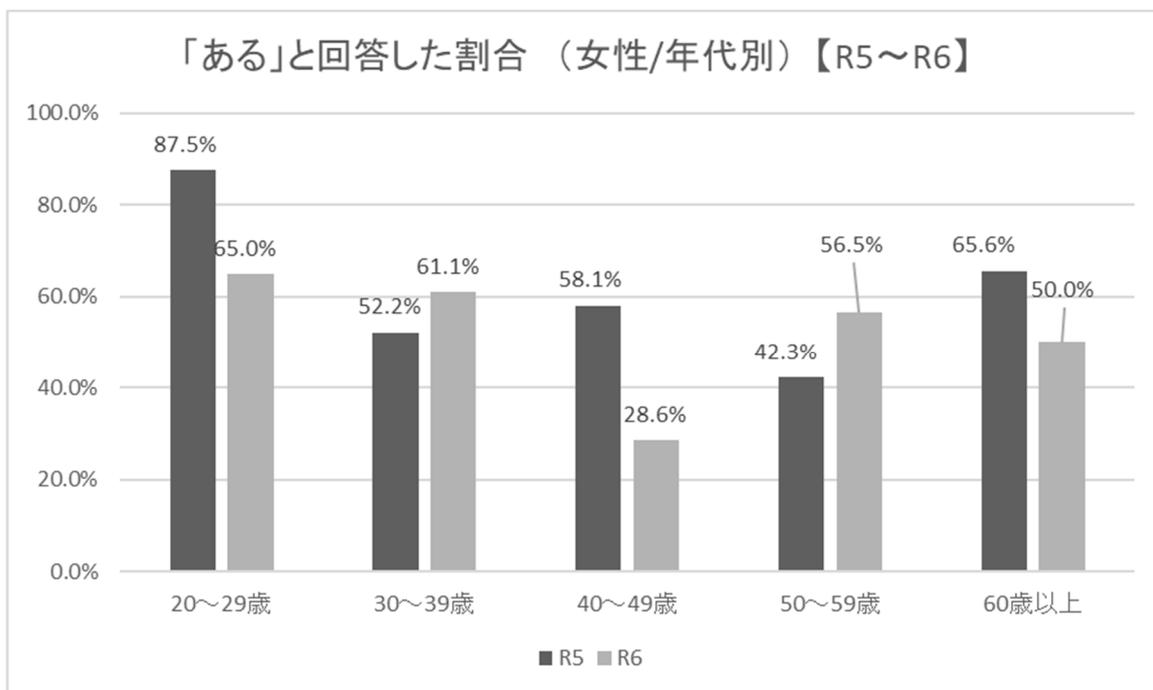
- ・約60%の人が見たり聞いたりしたことが「ある」と回答していますが、「男女共同参画社会」という用語の周知度は前年度を下回っています。
- ・近年、内閣府男女共同参画局の刊行物その他、共同参画関係の団体刊行物において、「男女共同参画」という用語があまり見られなくなってきました。今年度の本アンケートにおいても、「共同参画」という用語を使用しました。
- ・自由記載の回答によると、「見たり聞いたりしたこと」と「すでにこの用語を知っていること」を区別し、用語の意味は知っているが、見たり聞いたりはしてい「ない」と回答した人もいるようです。



・男性は20代と50代が70%以上と高く、その他の年代でも50%以上の人が認識しています。
 女性は20代が65%以上と高い一方、40代が28.6%と低くなっています。



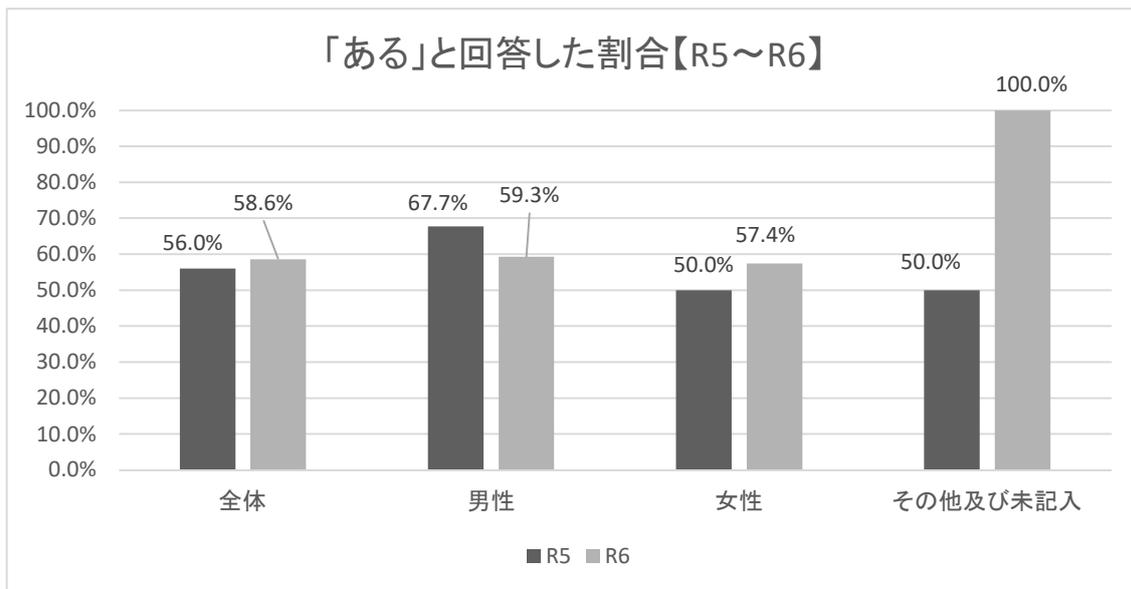
・20代、30代、50代は前年度を上回っていますが、40代、60代以上は前年度を下回っています。



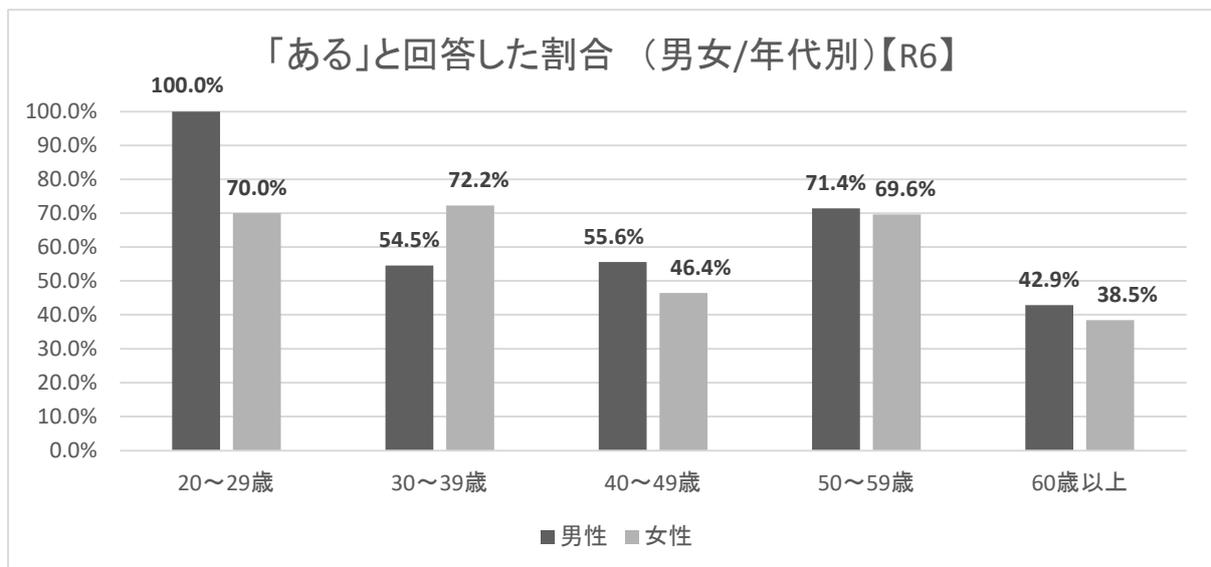
・30代、50代は前年度を上回っていますが、20代、40代、60代以上は前年度を下回っています。

問2：あなたは、「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）」という言葉を見たり聞いた
 りしたことはありますか？

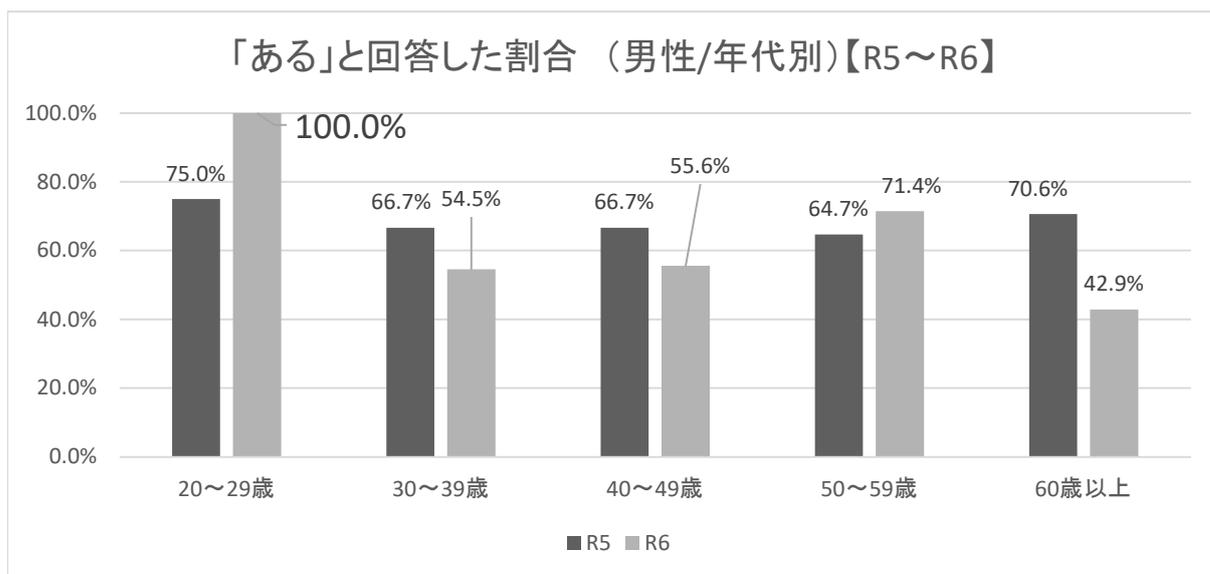
- ① ある ② ない



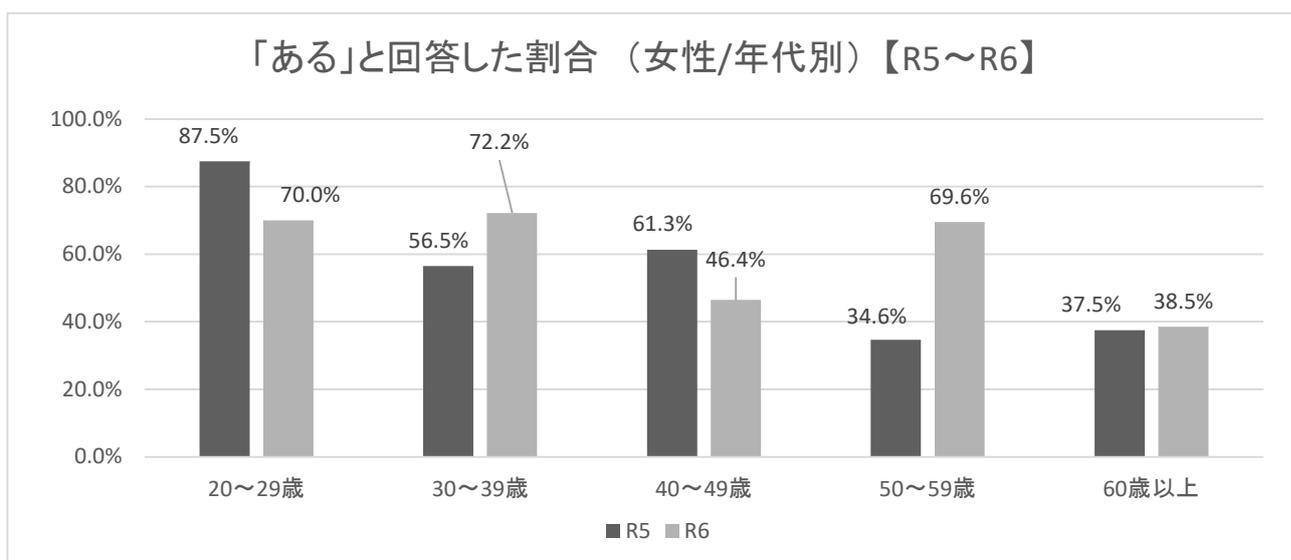
- ・見たり聞いたりしたことが「ある」と回答した人の割合は、全体的に横ばいとなりました。また、男性の認識している割合が、女性の認識している割合よりも高くなっていますが、前年度よりも男女間の割合の差が少なくなりました（前年度 17.7%から今年度 1.9%）。



- ・男性は 20 代、50 代で 70%以上の方が認識しており、女性は 20 代、30 代で 70%以上、50 代でもほぼ 70%の方が認識しています。



・前年度と比べ、年代ごとの認識率にばらつきが見られます。20代が100%、50代が70%以上と上昇している一方、30代、40代、60代以上では60%未満となっています。



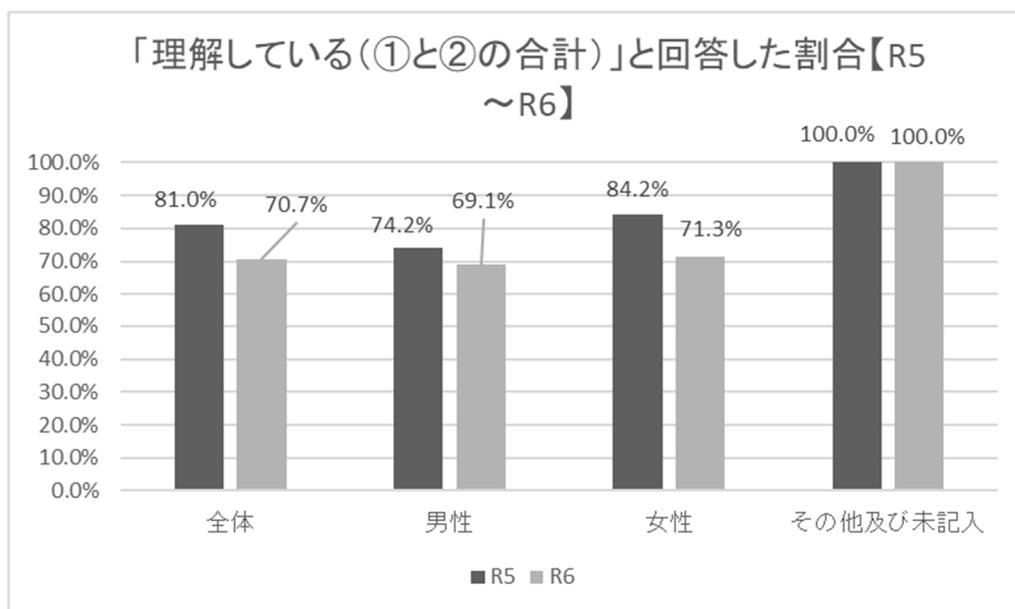
・30代、50代、60代以上で、前年度に比べて認識率が上昇しています。

※問3「あなたがワーク・ライフ・バランスを実現するために心掛けていることや、実践したらよいと思うことがありましたらご自由にお書きください」については13ページに記載しています。

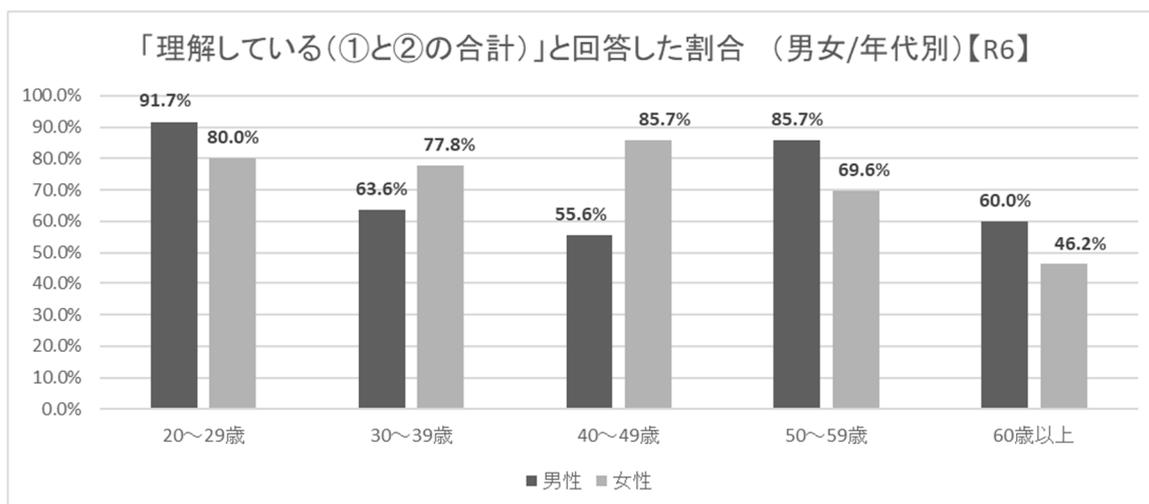
問4：あなたは、「LGBT」という言葉の意味を知っていますか？

- ① よく理解している
- ② だいたい理解している

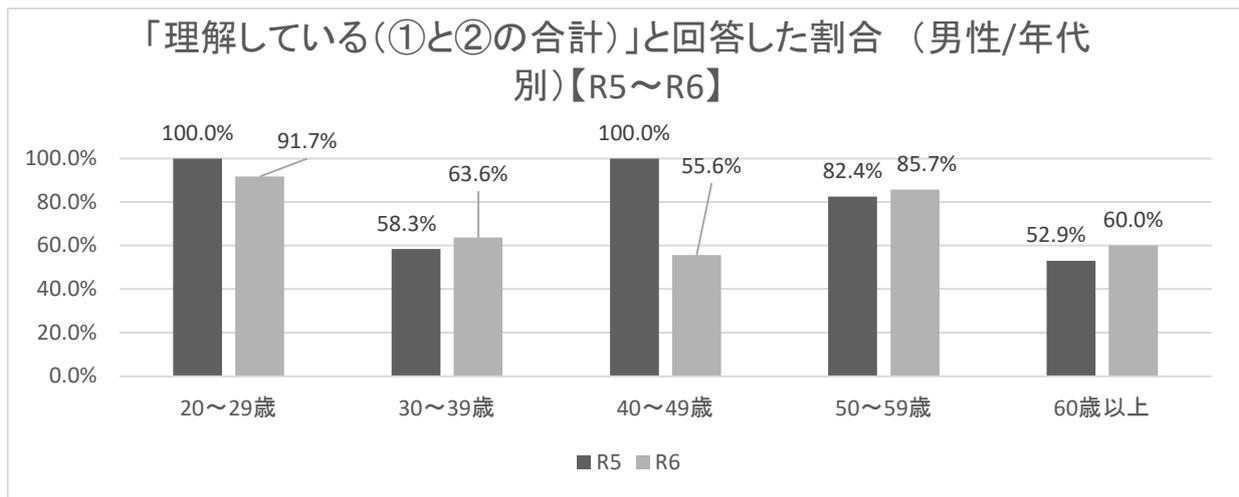
- ③ 聞いたことはあるが内容はよく知らない
- ④ 知らない



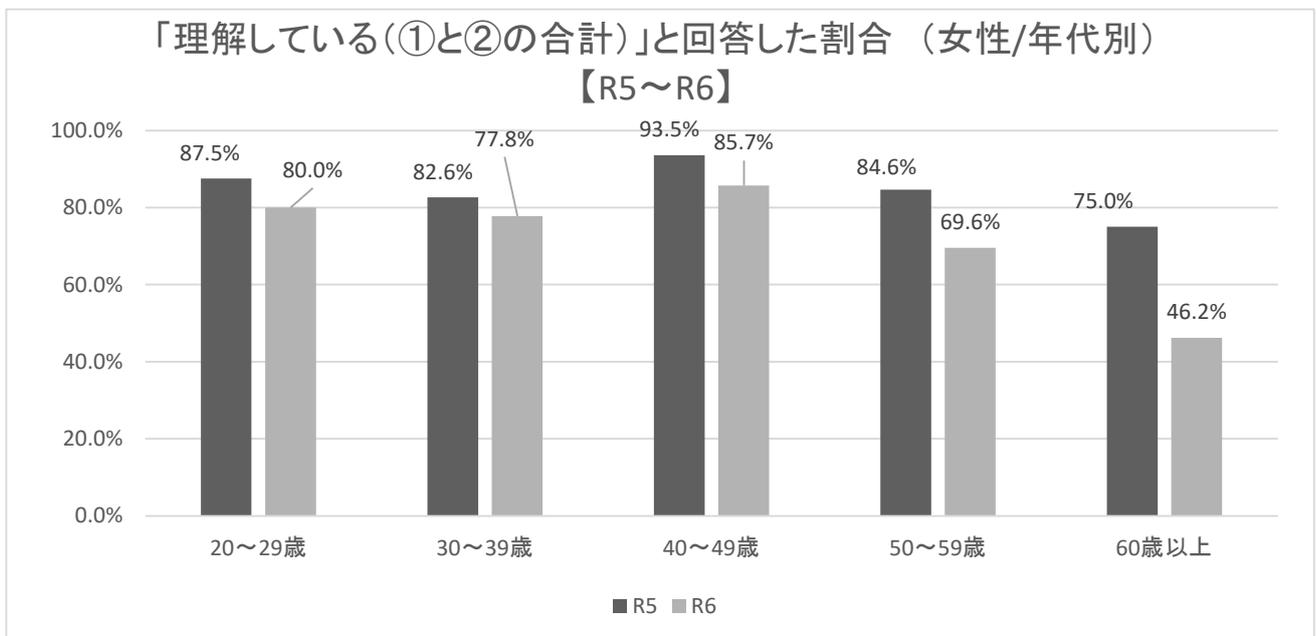
- ・約 70%の人が「理解している」と回答しています。また、男女の割合の差が少なくなっています（前年度 10%、今年度 2.2%）。
- ・前年度と比べて全体で約 10%、理解していると回答した人の割合が下がっています。考えられる背景として、近年、LGBT という用語の意味が多様化しているということがあるかもしれません。



- ・男女ともに 50 代以下の年代で 50%以上の人理解しており、特に 20 代は 80%以上の人理解しています。男性は 20 代と 50 代、女性は 20 代と 40 代が 80%以上となっています。



・30代、50代、60代以上は、前年度を上回っています。20代は前年度を下回るものの、90%以上という高い割合です。

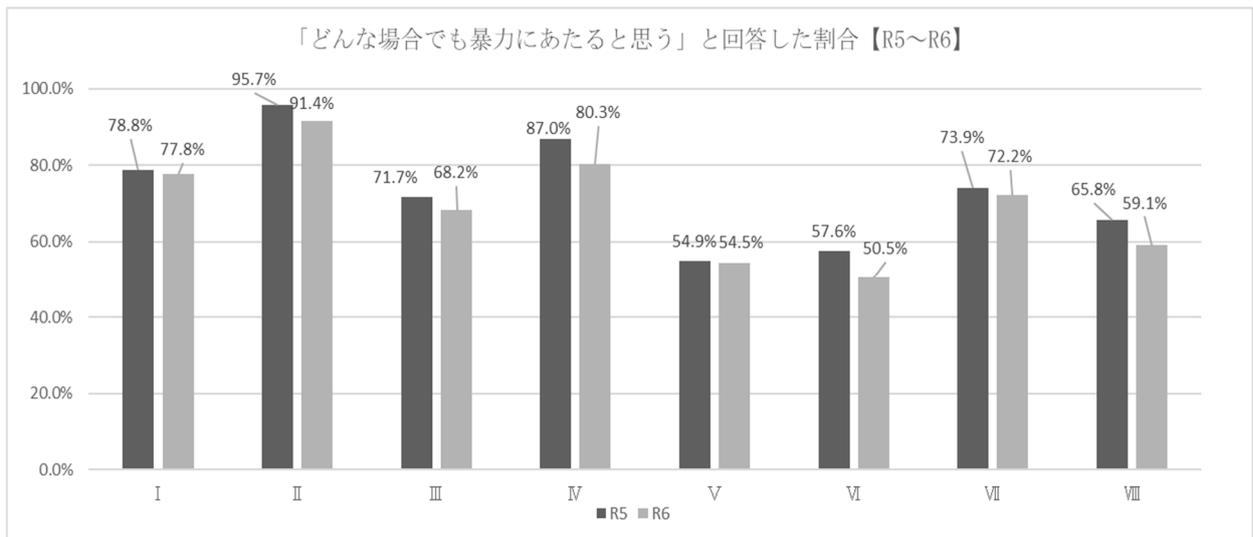


・すべての年代で、前年度を下回っています。

問5：あなたは、次のようなことが夫婦（恋人）間で行われた場合、それを暴力だと思いますか？
 （各項目について、あなたの考えに近い番号をいずれか1つ選んで○をつけてください）
 ※「夫婦」には婚姻届を出していない事実婚や別居中の夫婦も含まれます

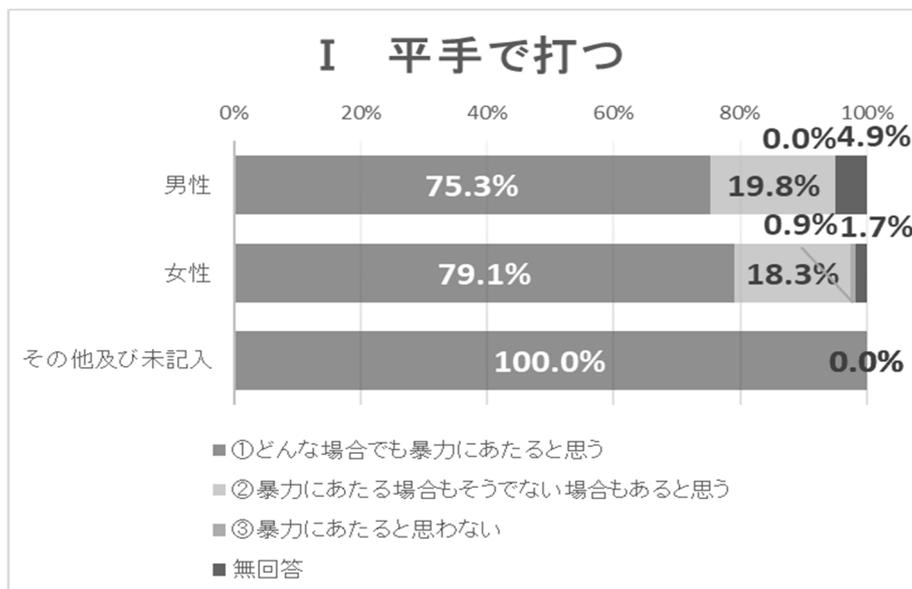
- ①どんな場合でも暴力にあたると思う
- ②暴力にあたる場合もそうでない場合もあると思う
- ③暴力にあたるとは思わない

項目		回答		
I	平手で打つ	①	②	③
II	身体を傷つける可能性のある物でなぐる	①	②	③
III	なぐるふりをして、おどす	①	②	③
IV	いやがっているのに性的な行為を強要する	①	②	③
V	何を言っても長期間無視し続ける	①	②	③
VI	交友関係や電話を細かく監視する	①	②	③
VII	「役立たず」など、人格を否定するような暴言を吐く	①	②	③
VIII	大声でどなる	①	②	③



- ・全ての項目で半数以上の方が「どんな場合でも暴力にあたると思う」と回答しています。V～VI、VIIIの精神的な暴力について認識している割合が低くなっています。全体的に、前年度と比べてやや低いものの、ほぼ横ばいとなっています。

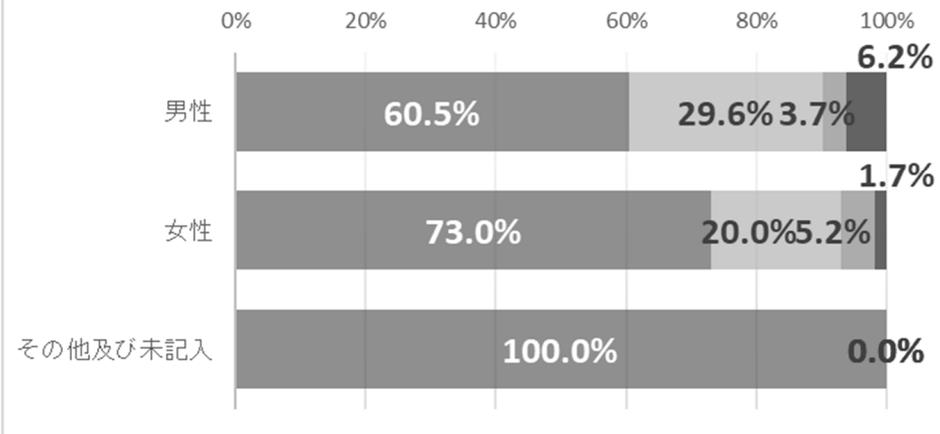
項目別



Ⅱ 身体を傷つける可能性のある物でなぐる



Ⅲ なぐるふりをして、おどす



Ⅳ いやがっているのに性的な行為を強要する



V 何を言っても長期間無視し続ける

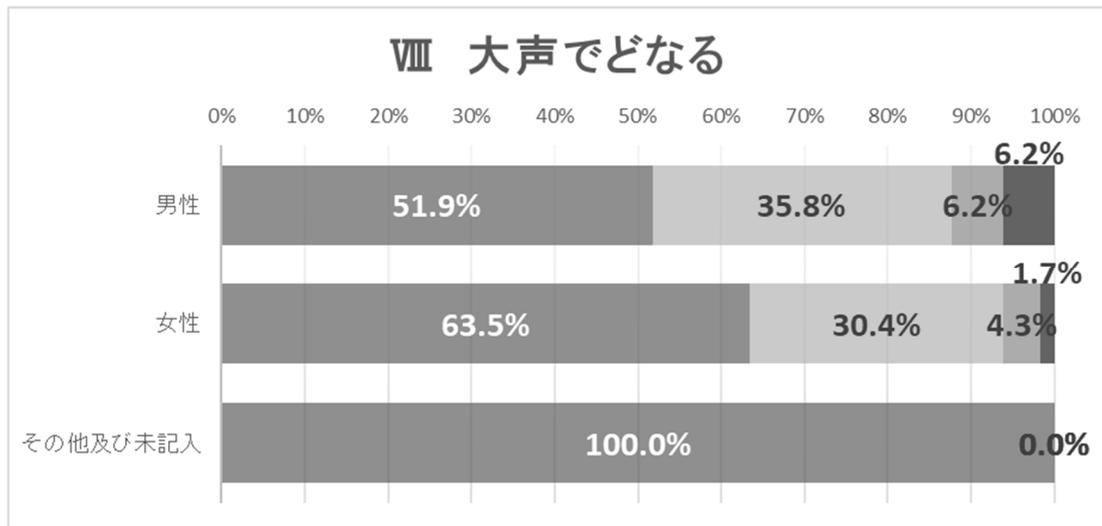


VI 交友関係や電話を細かく監視する



VII 「役立たず」など、人格を否定するような暴言を吐く





<参考・男女差一覧>

項目	男性 (%)	女性 (%)	差 (%)	DV 種別
I 平手打ち	75.3	79.1	3.8	身体
II 物で殴る	87.7	93.9	6.2	身体
III 脅す	60.5	73	12.5	精神・身体
IV 性行為の強要	76.5	82.6	6.1	身体
V 無視	51.9	55.7	3.8	精神
VI 監視	42	55.7	13.7	精神
VII 人格否定	59.3	80.9	21.6	精神
VIII 怒鳴る	51.9	63.5	11.6	精神

- ・男女間の認識の差については、精神的な暴力に該当する項目で「どんな場合でも暴力にあたると思う」と回答した割合が、女性の方が10%以上高くなっています。Vの「無視」についてのみ、男女間の差が少なくなっています。VIIの「人格否定」では、「どんな場合でも暴力にあたると思う」と回答した割合が、女性の方が20%以上高くなっています。

問3：あなたがワーク・ライフ・バランスを実現するために心掛けていることや、実践したらよいと思うことがありましたらご自由にお書きください

<20代女性 (7件) >

- 不要な残業はしない。不要な接待は行わない。
- 仕事と両立する上で多少の犠牲はつきものだと思うので、生活面で洗濯が溜まる、掃除がちゃんと出来ない、などは忙しかったから、体調悪かったから仕方がない！と負担に思わない様に自分にも家族にも伝えてます。
- 残業時間の削減、休暇取得、長期休暇の取得。
- 定時退社。
- 定時帰宅。
- 休暇制度の充実、周りの人の理解。

○心がけていること：給料が発生していないときは仕事をしない、実践したらよいこと：休みを取りやすい職場環境を整える（制度だけではなく、上司や同僚の反応）。

<20代男性（4件）>

- 休日は趣味など楽しんで仕事とのメリハリをつけられるようにしています。
- 無理なことは無理ということ。
- 程よく学校をサボる。
- 好きなこと、やりたいことを優先した生活を送ること。夢や目標があるので、そのための仕事と今は捉えています。労働時間が求人情報とずれ過ぎていることがよくあり、困ることが多々あります。

<30代女性（4件）>

- 仕事が終わった後でも自分の趣味などが行える余裕があるとバランスが取れていると思う。
- 1人では成立しないので、家族や周囲、学校、職場の理解や協力があってこそだと思います。
- 現在未就学児を子育て中だが、パートで扶養内で働きつつ家庭もしっかり見ていけるようバランスをとっている。未就学児がいる家庭では扶養内での仕事が時間的にも肉体的にもバランスがとれているように感じる。なるべく、地域や町内会のイベントに積極的に参加して、コミュニティと繋がるようにしている。
- 完璧主義なところがあり、仕事上の責任を強く感じてしまう性格のため仕事にのめり込みすぎないように家庭を優先に考えて行動するようにしています。

<30代男性（3件）>

- 聞いたことは有るが意味はわからない。
- 大変難しいです。
- 趣味を持つこと。

<40代女性（11件）>

- 無理をしない。
- 就業時間を超過しないよう、効率よく仕事をこなす、終わらなかったことで急がないことは翌日に回す。仕事から帰ったら、仕事のことは考えないようにしたい。そのために、円滑な人間関係が必要と感じている。悩みをもって帰るのは一番避けたい。
- 仕事や家事の男女平等とは言え、収入格差があるのでやはり男性の収入に頼ります。家事も料理、掃除の他に子の送迎などがありそれも含めて父母で協力してやっています。父は育児をせず楽だ、母は働く時間が短く責任も軽く楽だ…と思わないこと。どちらも大変だと、お互いの状況を分かりあうことが大事だと思います。
- それぞれ、ほどほどに思っているが、現実には疲れるほどやる事がたくさんあります。
- 特にありません。今はワークの方にバランスが偏っていてストレスの溜まる生活をしています。収入が増えれば、働き方を変える事も考えられるのですが。
- 田舎なので、特に子育て期は、子どもが病気になった時など、みてる人がいないと仕事を続ける（始める）ことは難しいです。仕事も家庭も人間関係良く、楽しく過ごせることが1番だ

と思います。

○仕事の息抜きとして趣味を楽しみたいが、無趣味なのでダラダラと休日を過ごしてしまう。

○ストレスを溜めない。時間がなくて大変な時は、家事を家族に頼む。

○育児や家事だけが自分の仕事だと思わず、自分がやりたいことをやる、自分中心の選択肢も設けるようにしています。

○ないです。

○休日が1日しかないないと、休めないから、すべてが月～木に働く。金～日が休みになれば、心も体もバランス取れそうな気がします。働いて帰ったら休みたいけど、家事があると女性は動きっぱなしの方が多いですよね。子どもが小さいと休めないか。

<40代男性 (6件) >

○休日等に運動をし、体を動かしたり普段は会わない人と会話をする事でストレスを発散している。

○残業をせず家で過ごす時間を確保している。

○没頭できる趣味や副業を持つ。

○差別をしないこと。公務員の賃金削減や、人員を減らす！！

○言葉では知っていても、意識や実践していることはない。

○特にないです。

<50代女性 (8件) >

○仕事の分量が多い際は他の方に依頼をし、分量を減らすようにしたり、他の方の仕事量が多い場合は引き受けたりをしています。全ての人たちが働きやすく無理のない職場づくりに力を注いでいます。

○ワークライフバランスは個人の問題ではなく社会の問題であると思います。女性に経済力が必要。

○仕事でしっかり稼げると生活が充実すると思うので、賃金アップをお願いしたい。

○ストレスフリー。いかにストレスを溜めずに出来るかどうか。

○今の職場は、なかなか定時に帰ることが出来ない。スタッフの仕事だけなら、なんとか必死に終わるが、他の事を受け持っているとなかなか帰れない。

我が家は、子供もいないし、介護も無い。旦那の仕事終わるのが遅いから、家の事が間に合うけれど、そうでなければ、両立は難しく辞めなければならない。子育て世代も、親の協力無くしては無理だと思う。産休育休に入ったら、残されたスタッフは、超忙しい。

だから、子供ができる事は、おめでたい事なのに、心の中では、喜べない自分もいる。心も体も疲れる。

産休中は職場としては、その人に給料を払っているから、その他に新しく雇い入れて給料を払うなんて事が出来ないのも解る。でも何とかして欲しい。辛い。

○有給休暇を取りやすくしてほしい！会社側が取りやすくしてくれなくて、壁に色々条件を書いて貼ってある。

○田舎だと働く場所がなかなかない。生活との調和は難しい。通勤に時間がかかるとなおさら。

○労働時間減、休日増のための働き方にシフトチェンジする。

<50代男性（4件）>

○基本的に残業の無い部署のため、特に意識していることは無い。

○オンオフをハッキリとさせてます。仕事は仕事。プライベートはプライベートとして。ただ季節など時期的に難しかったり、職場では変な上司に当たると仕事面もそうですが生活環境も引き摺られて大変な事になってしまいます。

○仕事を中心にしないようにしています。

○特にありません。

<60代以上女性（4件）>

○自分のペースで進めていける事、パートナーとの協力です。

○男女共同参画社会に対する考え方は、世代によってずいぶん違うと思います。60代以上であれば、ご主人の前に出ないなどありますが、50代以下では共同参画は浸透しているように思われます。しかし、出産後は女性が今でも働きにくい状態にあるとしたら、企業に対しての働きかけをする必要があると思います。

○ない。

○なんでも、ほどほどにと思っています。

<60代以上男性（11件）>

○特にありません。

○仕事と生活の調和ができるような職場であつたらすぐ倒産してしまうのではないのでしょうか。市役所等のような倒産に関係ない職場の人が考えることだと思います。

○仕事も家庭生活も大切にすゝる気持ちが基本。休む（楽しい）から頑張れるということ。仕事以外で、例えば町内会活動に時間の余裕を考えて参加することにより、色々な人の考えを参考にしして仕事にプラスになることもあると考える！

○90歳を過ぎたので、もう無理をせずの毎日です。年金に感謝しております。今後ともよろしく願います。

○男女平等には絶対ならない。

○家事参加。

○妻と共有できる趣味（花・絵画）を持つ。

○家族の安全・安心を支えるため、能力に合った行動をする。

○高齢者で仕事はしてありませんが、家庭では妻と協力しあい、それぞれができることを実践し、地域社会では高齢者団体等に関わり、少しでも役立ちたいと考えております。

○言葉の意味が理解できない。

○勉強不足で考えがまとまりません。

<年代不明・性別未記入（1件）>

○いくつになっても社会とのかかわりを持って多様な生き方でいきがいのある生活をしたい。

問 6：あなたが日ごろ感じている男女平等や男女共同参画についてのお考えやご意見がありましたらご自由にお書きください

<20代女性 (2件) >

○男が育休、産休に入りづらい世の中をもう少し改善できたら良いと思う。

昔よりは入りやすくなっているがまだその固定概念にとらわれてる人も多い事から少子高齢化も進んでいる原因になっていると考える。

○前よりも男女平等になってきてると思います！

<20代男性 (2件) >

○男性と女性のそれぞれの特性を活かした社会の方が効率的で良いと思います。無条件で男女平等を謳うのではなく、対話を重ねた上の男女平等の実現を希望します。様々な立場の意見を理解し合い、多数派と少数派が互いに尊重し合う雰囲気醸成が、今後の社会に必要なことだと思います。

○自分は男女差別を行いがちな世代の多くはご高齢の方の割合が多いなと生活していて感じています。そんな人達に現代の男女平等についてや、多様性についての何らかのイベントや啓蒙活動の実施を行うのも良いのではないかとふと考えました。今回はこのような貴重な体験をさせていただきありがとうございました。

<30代女性 (3件) >

○男女平等は難しい部分もあるが共同参画はよいと思う。

○私はやられたらやり返しお互いが納得できる解決策をみつけるまで話し合うタイプなのでやられっぱなしの女性のことはわかりません。男女平等なんて絶対無理だと思います。合わない異性と一緒にいる時間が無駄だってこと早く気づかせてあげるきっかけがあればいいなと思います。男女ともにね。頑張りすぎは男女共に壊れちゃう。そしてLGBTは産まれたときの性別で動いていて欲しいと思っています。

○「家事は女性がするもの」「パート＝女性」のような性差別は完全になくなったわけではなく、またそういう考えを持っている人は多いと思う。そんな考えの親を持った子どもとかも、親がそんな考えをしていたら同じ考え方になると思う。上司が女性、とかを面白くないと思う男性もいると思う。

<30代男性 (4件) >

○外国の方が言った言葉「男女には差異がある、大事なものは平等ではなく対等で有るべき」と言う言葉に思うところが有る。子どもの親権について日本は女性側が強すぎておかしいと思う。

おかしい批判、常識の無い物言いには謝らず、逆に貴方がおかしいと言う位が良いと思います。

○設問が悪い。携帯を監視したり、暴言を吐くということは、「暴力」ではないが、やってよいことではないと考えます。しかし、設問が「暴力」であるため、今回の回答といたしました。

今後は「暴力には相手の心身いずれかを傷つける恐れのある行為」を明確にして、アンケートを行う必要があると考えます。

○上記はいずれも、自分であれば自分の妻に対してはやらないと思います。しかし、それが問題

ないと感じる人も少なからずいるのだと思います。尺度は人間の数だけあると思いますので、大事なのは相手とコミュニケーションを取るうえで互いの価値観を否定することなく、互いの価値観を傷つけることなく生きていくことが大切だと思います。

ジェンダー論は最終的には女性差別、女性蔑視という論理に落ち着く傾向にあります。女性差別があるのは事実として、なぜそうなったのかという背景を解明すること、男性差別は存在しないのかという反対の立場も考えることをしないと学問としては低いなあと感じてしまいます。

また性的少数への配慮はもちろんですが、マイノリティを過度に配慮し、性犯罪を助長してしまうようなケースも報告されています。多様性を掲げるのであれば、マイノリティを受け入れられないという多様性も認める必要があると思います。どちらか一方が過度に権利を主張するのではなく、お互い冷静な議論が必要かと思います。

○暴力行為はいけないと思います。

<40代女性 (7件) >

○どのような性別、年齢などでも、一方的に我慢を強いられることのない社会が良いと考える。そのために、従来のやり方を変える必要があれば柔軟にするのがよい。しかし、新たな価値観を通すために、新たな我慢を生むのも避けるべきと思う。

よく話し合い、受け入れることの可能なことは受け入れ、新しくして、国民、市民が住みやすい世の中を作っていくべきで、自分も柔軟でありたいと思う。

○男女で同じことをするのが平等ではなく、男女の脳の仕組みからくる特性によってふさわしい活動をするのが平等だと考えます。

身体の性(脳)の性が違う方もたくさんいらっしゃいますが、その場合も特性に合わせた活動をするのが好ましいと思います。お互いの理解と知識も大事です。

60から70代の偉い方々の中で、いまだに男尊女卑や、男女の特性の知識が少ない方が多いので男女平等が上手く行ってない印象もあります。育った環境や時代の影響なので仕方ないですが…。

○男女平等、男女共同参画、昔よりは良くなっていると思いますが、現実には男女共に古い考えの人がたくさんいるので、なかなか難しいと感じています。

○何でもかんでも「平等」ではなく、男女の身体的特徴に合わせた平等を考える事が重要だと思います。

○誰もが同じように、同じことをするのは、得意不得意もありますし、難しいと思います。特に出産は女性にしか出来ないことなので、子育ては女性が主になることが多いです。家事は最近男性も得意な人が増えた印象がありますが、女性が主の家庭がほとんどだと思います。

一方、仕事をしながら、子育て、家事をする女性はかなり増えています。

もっと手軽に利用できるサービスが充実して、負担が軽くなって欲しいです。

○能力、体力、みんな違うのだから性別を意識しすぎず個人の力を活かせる社会になってほしい。

○今の若い人たちは、お互いにできることを協力し合っていて、とても良い時代だなと思います。育児には正解はないから簡単には言えないけど、子どもと一緒に過ごす時間がたくさんあれば良いのにな、とは思っています。

<40代男性 (3件) >

○共働きの親の元で育ってきた経験から、家事・育児は誰かの負担が偏ることがないよう、子ど

もも含めた家族全員のチーム制で行うべきと考えています。

○昭和世代とそれ以降では考え方やとらえ方が異なるので、お互いを尊重し理解することが必要だと思う。

○異性間のトラブルを減らすべきです。

<50代女性（7件）>

○家事は女性が行うという固定概念は間違っていると考え、男性女性が平等に行うべきだと考えています。また企業で働いていると男性の管理職が非常に多く、不平等さを感じざる得ません。女性管理職という言葉があること自体、違和感を覚えます。女性が活躍する社会という言葉にも違和感があります。すでに活躍している方は多いので、男性が認めることで変わっていくと思います。

○官製ワーキングプアを改善してほしい。男女の賃金格差が問題。

○子育てにおいて早く男女平等になるといいなと思う。

○男女平等といいながら、日本全体が未だまだ男社会ですよね。

今の会社では、仕事柄男社会側なので、女性更衣室、トイレは有りません。すごく居心地が悪いし気持ち悪いです。男女平等と言うならばもっとそれぞれに寄り添った働きやすい環境にしてもらいたい。法律も…。

○まだまだ男社会。状況によって都合よく”男だから””女だから”ということはあるのが現実。政治家でさえ発言がある。頭が固い。柔軟性が必要。

○まだまだ共同参画については十分ではないと感じます。

○男女平等ですが、身体的に適したところは配慮が必要だと思っている。平等に「適材適所」。

<50代男性（3件）>

○男女という区別はあるが差別は無い。混同してはいけないし、機会は均等でなければならないと思う。まずは意識の啓蒙が必要なのかもしれない。

○男女問わずお互いに得してる面や不利な面は日常的にあると思います。

変に男だから女だから、若者だから年配だからって区別するのではなくお互いの事を思って自然に気遣えば争いなんてないと私は思います。

○平等ばかりでなく、それぞれの長所を活かして支え合う事も大事。公平に。

<50代性別未記入（1件）>

○「男女共同参画社会」という言葉は聞いたことがないが、内容は知っている。

<60代以上女性（5件）>

○日本はまだ男尊女卑が根強いと感じます。働く女性が増えたといえ家事は女性の仕事と考える人がいて負担はまだまだ解消されません。

○男女平等、共同参画社会は時間をかけて進めていくことと、家庭・学校・社会と連携して作らなければ、実現するのは難しいと思います。特に学校・公共施設はもっと地域の協力を求め、敷居を低くし、地域ごと男女平等・共同参画を進めていくこと、市役所の方々が地域に求め、市民とともに進めていくことが必要だと思います。それが仕事となるのではないかと思います。

○令和の時代になってもまだまだ男女平等とは言えない事柄（賃金の差等）があると思います。男女に関わらず、互いを尊重する姿勢が大切だと思います。

○相手の気分次第で暴力を受けていました。誰にもどこにも相談するところがなかったです。子どもが社会人になった所で別れました。今は静かに暮らしています。

○ないです。

<60代以上男性（10件）>

○私は20年ほど前ですが、妻に対するDVが原因で離婚を申し出され、離婚に至りました。

DVの原因となったのは私の飲酒問題でした。

DVをした時も深酒をしていました…。

今更反省しても遅いのですが、現在は断酒をして6年半ほど経ちました。

お酒とDVの関係には密接な繋がりが有ります…。

○特にありません。

○テレビや新聞ではさかんに男女平等のことを言っていますが、男と女はそもそも肉体的に異なっている。男女平等と言うならオリンピックの場合男と女を分けなくて全部同じにすればよいと思う。できないのではないですか？

○仕事には男女の向き・不向きがあるが（多少）、賃金格差（道内は男性の75%くらいか？）や、企業における社員教育の不足、経営者の意識の問題など、改善を要することが多々あると思われる。福祉や教育においても公平・平等が少しでも多くあればと考える。

○子どもの考えについていけない。悪いことをしても殴ったり怒鳴ったりできないのはおかしい。

○LGBTの方々が友達や近隣にいないので実感がない。しかし、多様性の社会実現の為、見守り、共生をしていきたい。

○私は年金生活で仕事はしておりませんが、家庭では妻の仕事（掃除・洗濯等）を手伝い協力し合い、地域では町内会行事へ参加・協力して、少しでも役立てたらいいと思っております。

○他の人の、それぞれ生まれた環境・価値観が異なるので、何が正解とかないのだから、法律を守らない場合以外は、男女を区別する必要はない。DNAの違いは理解すべき。

○同じ人間としてお互い尊重し合うことが大事。

○男女平等や男女共同参画が普通である社会になるよう、その実現に向けた行政の取組みをお願いします。